PC98-NX

活用ガイド
再セットアップ編

再セットアップするには

PC98-NX SERIES

VersaPro

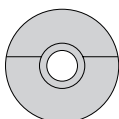
（Windows® XP Professional /
Windows® 2000 Professionalセレクタブル）

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。

●『はじめにお読みください』
このパソコンの接続方法やWindowsのセットアップ手順について説明しています。

- ・型番の確認
- ・添付品の接続
- ・Windowsのセットアップ
- ・マニュアル紹介

●『活用ガイド 再セットアップ編』
このパソコンを再セットアップする場合の方法について説明しています。

- ・再セットアップの方法

◎『アプリケーション CD-ROM/マニュアル CD-ROM』
『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソフトウェア編』が収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

●『活用ガイド ハードウェア編』
このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について

●『活用ガイド ソフトウェア編』
アプリケーションの利用方法、追加と削除の方法について説明しています。また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。

- ・添付アプリケーションの概要と追加/削除
- ・ドライバのインストールと設定
- ・パソコンのメンテナンスと管理
- ・トラブル解決Q&A

このマニュアルは、パソコンを再セットアップする方法について説明しています。

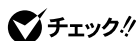
2002年　2月　初版

対象機種　（Windows® XP Professional / Windows® 2000 Professional セレクタブルモデル）

VA80J/BH、VA65H/BH

853-810028-297-A

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。
	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

CD-ROMモデル	CD-ROMドライブが添付されているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブが添付されているモデルのことです。
フロッピーディスクモデル	フロッピーディスクドライブが添付されているモデルのことです。
Office XP Personalモデル	購入時にOffice XP Personalがインストールされているモデルのことです。
Office XP Professionalモデル	購入時にOffice XP Professionalがインストールされているモデルのことです。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「Phoenix BIOSセットアップユーティリティ」と表示されます。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	次のいずれかを指します。 ・Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 ・Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows XP、Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Office XP	次のいずれかを指します。 ・Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、MicrosoftBookshelf® Basic 3.0) ・Microsoft® Office XP Professional(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft PowerPoint®、Microsoft Access、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、MicrosoftBookshelf® Basic 3.0)
Office XP Professional	Microsoft® Office XP Professional(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft PowerPoint®、Microsoft Access、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)

◆このマニュアルで使用している画面

・本書に記載の画面は、モデルによって異なることがあります。

・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

> 国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

■瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザ安全基準について

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデルには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブのいずれかが添付されています。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えします。ご購入元までご連絡ください。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare℠ International Service]対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.ultracare.nec.co.jp/jpn/
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください。)。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、PowerPoint、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Symantec、SymantecロゴはSymantec Corporationの登録商標です。

Bluetooth™はその商標権者が所有しており、NECはライセンスに基づき使用しております。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■ 輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。(ただし、海外保証サービス[NEC UltraCareSM International Service]対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致します。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCareSM International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

＊1:NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.

目　次

システムを修復する

ここでは、Windowsでシステム構成を変更したことで、正常にWindowsが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

システムの修復方法は、次の方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復
p.1「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」

↓

セーフ モードで起動
p.3「セーフ モードで起動する」

↓

「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復（Windows 2000のみ）
p.4「「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復する」

↓

再セットアップを行う
p.7「再セットアップが必要な場合」

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windowsを再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』の「添付アプリケーションの概要と追加/削除」をご覧ください。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムを変更した後で、Windowsが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。

チェック!!
- **前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破棄されます。**
- **構成変更後2回以上正常に起動した後では、その変更前の構成には戻りません。**

前回正常起動時の構成を使用する場合は、次の手順で行います。

■ Windows XPをお使いの場合

1 本機の電源を入れる

「NEC」のロゴが表示されます。

2 「NEC」のロゴの表示が消えたらすぐに【F8】を何度か押す

「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されます

3 【↑】を押して「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す

「オペレーティング システムの選択」画面が表示されます

4 【Enter】を押す

Windowsが再起動します。

これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows XPを起動することができます。

■ Windows 2000をお使いの場合

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示された後、画面下に「Windowsを起動しています…」と表示されたらすぐに【F8】を押す

3 「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されたら、「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す

4 「オペレーティングシステムの選択」画面が表示された場合は【Enter】を押す

5 「ハードウェア プロファイル/構成の回復メニュー」画面が表示されたら、【L】を押して起動したいプロファイルを選択し、【Enter】を押す

Windowsが再起動します。

これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows 2000を起動することができます。

セーフ モードで起動する

セーフ　モードは、Windowsを正常に起動させるために、最低限のデバイスドライバとサービスでシステムを起動するためのモードです。

新しく追加したデバイスや変更されたドライバが原因となっている場合は、セーフ モード起動後、原因となっているドライバを削除したり、変更を元に戻したりすると問題が解決する場合もあります。

以下の手順でセーフ　モードを起動できます。

■ Windows XPをお使いの場合

1 本機の電源を入れる

「NEC」のロゴが表示されます。

2 「NEC」のロゴの表示が消えたらすぐに【F8】を何度か押す

「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されます

3 【↑】を押して「セーフ　モード」を選択し、【Enter】を押す

「オペレーティング システムの選択」画面が表示されます。

4 【Enter】を押す

セーフ モードで起動されるまでしばらくかかります。そのままお待ちください。

「Windows はセーフ モードで実行されています。」と表示されます。

チェック!! ログオン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択してください。

5 「はい」ボタンをクリックする

■ Windows 2000をお使いの場合

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示された後、画面下に「Windowsを起動しています…」と表示されたらすぐに【F8】を押す

3 **「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されたら、「セーフ モード」が選択されていることを確認し、【Enter】を押す**

4 **「オペレーティング システムの選択」画面が表示された場合には、画面左下に「セーフ　モード」の表示があるのを確認し、Windows 2000を選び【Enter】を押す**

しばらくすると「お待ちください...」画面が表示されます。
セーフ モードで起動されるまでしばらくかかります。そのままお待ちください。

5 **「Windows はセーフ モードで実行されています。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする**

「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復する(Windows 2000のみ)

ファイルの破損などにより、セーフモードや前回起動時の構成を使用してもWindows 2000が正常に起動しなかった場合、システム修復や回復コンソールを使用してシステムを修復することができます。

チェック!!

- **システムの修復を行うには十分な知識が必要です。あらかじめWindows 2000のヘルプをご覧になり準備を行ってください。**
- **システムの修復を行うには、Windows 2000セットアップディスクとシステム修復ディスクが必要です。Windows 2000セットアップディスクの作成方法は、次の「◎Windows 2000セットアップディスクの作成」を、システム修復ディスクの作成方法は、Windows 2000のヘルプをご覧ください。**
- **1.44MBフォーマット済みのフロッピーディスク4枚を用意してください。**
- **この作業にはフロッピーディスクドライブが必要です。フロッピーディスクドライブが添付されていないモデルをお使いの場合は別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-BU04)が必要です。**

◎ Windows 2000セットアップディスクの作成

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 「名前」に「C:¥BOOTDISK¥MAKEBT32.EXE A:」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

「コマンドプロンプト」の画面が表示されます。

チェック!! BOOTDISKフォルダをCドライブから移動した場合は、移動したドライブ名に読み替えてください。

画面の指示にしたがって「Windows 2000セットアップディスク」を作成してください。「Windows 2000 Setup Boot Disk」と「Windows 2000 Setup Disk」の#2、#3、#4の合計4枚が作成されます。セットアップディスクの作成が終了したら、自動的に「コマンドプロンプト」の画面が閉じます。

3 「Windows 2000 Setup Boot Disk」をフロッピーディスクドライブにセットする

4 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を起動し、Aドライブの「TXTSETUP.SIF」を開く

5 [SetupData]セクションに以下の記述を追加する

```
SetupSourceDevice = ¥device¥harddisk0¥partition1
```

harddiskは、ハードディスクの番号です(0から始まります)。
partitionは、パーティションの番号です(1から始まります)。

ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロール パネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「記憶域」→「ディスクの管理」で確認してください。

チェック!! この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。購入時はi386フォルダはCドライブのルートにあります。修復セットアップを行うには、i386フォルダがCドライブのルートになければなりません。i386フォルダをCドライブのルートから移動する場合には注意してください。
また、i386フォルダをCドライブ以外に移動した場合は、harddiskとpartitionの番号が変わりますので、記述を変更してください。

◎「システム修復／回復コンソール」の開始

1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 2000 Setup Boot Disk」をセットする

「Windows 2000 Setup」の画面が表示されます。
しばらくお待ちください。

2 「Please insert the disk...」と表示されたら画面の指示にしたがって、表示されている番号のセットアップディスクを入れ替え【Enter】を押す

Windows 2000 Setup Disk#4が終了すると「セットアップへようこそ」の画面が表示されます。

3 【R】を押して修復を選択する

キーボードの選択画面が表示されます。

4 画面の指示にしたがってキーボードを選択し、【Y】を押す

「Windows 2000修復オプション」画面が表示されます。

5 回復コンソールを使用する場合は【C】を押す
システム修復処理を使用する場合は【R】を押す

6 画面の指示にしたがって修復を行う

チェック!!

- **「システム修復ディスク」をバックアップ目的に使用することはできません。**
- **Windows 2000のrepairフォルダ内の情報ならびに「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。**

ハードディスクの構成を変えるときや、パソコンのシステムが壊れてしまったときに、添付の「バックアップCD-ROM」を使ってパソコンのシステムを購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

こんなときは再セットアップが必要です

- **Cドライブ(ハードディスク)の構成を変えたい**
- **電源を入れたとき、電源ランプが点灯しているのにWindowsが起動しない**
- **ハードディスクのプログラムが正常に動作しない**
- **ハードディスクのシステムファイルを削除してしまった**

チェック!!

- **再セットアップを行うと、Windowsで設定した内容がすべて初期値に戻ってしまいます。また、再セットアップを行うには、BIOSセットアップユーティリティで設定した内容を初期値に戻す必要があります(パスワードの設定を除く)。再セットアップを行うときは、本当に必要かどうかよく判断してから行うようにしてください。**
- **再セットアップ前にスーパバイザパスワードやユーザパスワードが設定されていた場合、それらの設定が再セットアップ後も引き続き有効になります。**

再セットアップの種類

再セットアップには、次の2種類の方法があります。必要に応じて利用形態にあった方法を選んでください。

◎ 標準再セットアップ

ハードディスクを、購入時と同じ状態にする再セットアップ方法です。
パソコン初心者の方や、システムを購入時と同じ状態に戻したい方は、この方法を選んでください。
すべてのハードディスク(Cドライブ、Dドライブなど)のデータは削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

◎ カスタム再セットアップ

再セットアップ時に選択したオペレーティングシステムにより、カスタム再セットアップの方法が異なります。

カスタム再セットアップには次の方法があります。

◆Windows XPをお使いの場合

- **Cドライブのみ再セットアップ**
  Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをNTFSで再セットアップすることができます。
- **ユーザー設定による再セットアップをする**
  Cドライブの容量をGB単位(NTFS)で指定して再セットアップすることができます。残りの容量はDドライブ(FAT32)として確保されます。すべてのハードディスク(Cドライブ、Dドライブなど)のデータは削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

◆Windows 2000をお使いの場合

- **CドライブのみをFAT32で再セットアップする**
  Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをFAT32で再セットアップすることができます。
- **全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップする**
  Cドライブのハードディスクの容量を最大にして再セットアップすることができます。
  すべてのハードディスク(Cドライブ、Dドライブなど)のデータは削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。
- **ユーザー設定による再セットアップをする**
  ハードディスクのサイズをGB単位(NTFS)で指定して再セットアップすることができます。
  すべてのハードディスク(Cドライブ、Dドライブなど)のデータは削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

チェック!! **カスタム再セットアップは、Cドライブの再セットアップです。他の領域を作成する場合は『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「ハードディスク」をご覧ください。**

再セットアップ時の注意

再セットアップを行うときには必ず次の注意事項を守ってください。

◎ マニュアルに記載されている手順どおりに行う

再セットアップを行うときは、必ずこのマニュアルに記載の手順を守ってください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップすることができません。

◎ 再セットアップは途中でやめない

再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。
再セットアップ中はオートパワーオフは無効となります。

◎ オペレーティングシステムの選択について

本機を再セットアップする場合は、購入時にはじめて電源を入れたときに選択したオペレーティングシステム以外は選択できません。

◎ 再セットアップ後の状態について

購入後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータは復元されません。インストールしなおしてください。
また、再セットアップ後に周辺機器の設定はすべて初期状態になります。もう一度設定しなおしてください。

◎ Cドライブのみを再セットアップする場合の注意事項

再セットアップを行うハードディスクに、Cドライブより大きい未割り当てのパーティションが存在する場合には、Cドライブのみの再セットアップができないことがあります。
これらのパーティションをプライマリパーティションとして確保してから、Cドライブのみを再セットアップしてください。

> 「プライマリパーティション」については「ディスクの管理」のヘルプをご覧ください。

◎ 「Cドライブのみ再セットアップ」する場合の注意事項(Windows XPのみ)

ハードディスクにプライマリパーティションと拡張パーティションが合計4つ存在すると、Cドライブのみ再セットアップができません。
Cドライブ以外のパーティションを1つ削除してから、「Cドライブのみ再セットアップ」を行ってください。
大切なデータがある場合は、必ずバックアップをとってください。

再セットアップの準備

ここでは、再セットアップを行う前に準備しておくことや、再セットアップ時の注意事項について説明しています。再セットアップを始める前に必ずお読みください。

必要なものをそろえる

再セットアップには最低限次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

以下のものは本機に添付されています。

- **『はじめにお読みください』**
- **『活用ガイド　ハードウェア編』**

  このマニュアルは、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っている電子マニュアルです。
- **「バックアップCD-ROM」**
- **「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」**

以下のものはモデルによって添付の有無が異なります。

- **「Office XP Personal」CD-ROM(Office XP Personalモデルのみ)**
- **「Office XP Professional」CD-ROM(Office XP Professionalモデルのみ)**
- **CD-ROMドライブ(またはCD-ROMを使用できるその他のドライブ)**

  このマニュアルでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。CD-ROMドライブ以外のドライブを使用する方は、「CD-ROMドライブ」をご使用のドライブ名に読み替えてください。
  CD-ROM、CD-R/RWモデルをお使いの場合は、『活用ガイド　ハードウェア編』PART1「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」をご覧になり、CD-ROMドライブを接続してください。
  CD-ROMまたは、CD-R/RWドライブが添付されていないモデルをお使いの場合は、別売のCD-ROMドライブ(PC-VP-SU01)またはCD-R/RWドライブ(PC-VP-BU11)をお使いください。

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、必ず他のフロッピーディスクや外付けハードディスクなどにデータのバックアップをとってから再セットアップしてください。

チェック!! **マルチユーザーでお使いの場合は、それぞれのユーザー名でログオンし、データのバックアップを行ってください。**

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合やハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製(コピー)を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なデータのバックアップが有効です。

パソコンの使用環境の設定を控える

再セットアップを行うと、インターネットやBIOSセットアップユーティリティなどの設定は初期値に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

◆ 控えておくもの

・インターネットのID
・インターネットのアドレス
・BIOSセットアップユーティリティの設定
・アクセスポイントの電話番号
など

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

・BIOSセットアップユーティリティの設定を初期値に戻す
・ワイヤレススイッチをオフにする
・本機の電源を切る
・CD-ROMドライブ以外の周辺機器を取り外す
・ACアダプタを接続する

◎ BIOSセットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

次の手順でBIOSセットアップユーティリティの設定を初期値に戻してください。

> BIOSセットアップユーティリティの設定を初期値に戻しても、スーパバイザパスワードやユーザパスワードは解除されません。

1 電源を入れて、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。
BIOSセットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん電源を切り、【F2】を押しながら電源を入れなおしてください。

2 【F9】を押す

「セットアップ確認(Setup Confirmation)」が表示されます。

3 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

4 【F10】を押す

「セットアップ確認(Setup Confirmation)」が表示されます。

5 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押す

これでBIOSセットアップユーティリティの設定が初期値に戻りました。

◎ 本機の電源を切る

スタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)になっている場合は、電源を切ってください。

◎ ワイヤレススイッチをオフにする

2.4GHzワイヤレスLAN、またはBluetooth™が内蔵されているモデルをお使いの方で、ワイヤレスランプが点灯している場合は、ワイヤレススイッチを押してオフにしてください。

◎ CD-ROMドライブ以外の周辺機器を取り外す

再セットアップに必要なCD-ROMドライブ以外の周辺機器を取り外して『はじめにお読みください』をご覧になり、購入時と同じ状態にしてください。

◎ ACアダプタを接続する

バッテリ駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

これで再セットアップの準備がすべて整いました。

「再セットアップを行う」(→p.14)に進んでください。

再セットアップを行う

**再セットアップの作業は、まず再セットアップ画面を起動し、そこから各再セットアップを選択して行います。
ここでは、再セットアップ画面の起動方法について説明します。**

再セットアップ画面を起動する

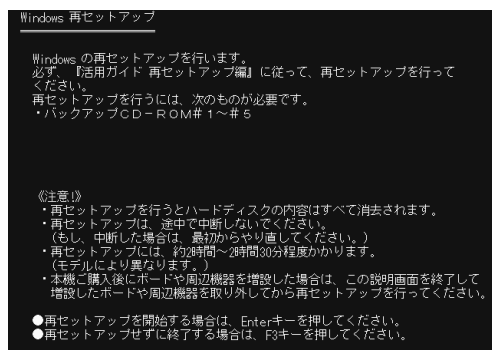
1 CD-ROMドライブを取り付ける

チェック!! 電源を入れるなど準備の必要なCD-ROMドライブは、CD-ROMドライブを使える状態にしておいてください。

2 「バックアップCD-ROM#1」をCD-ROMドライブにセットする

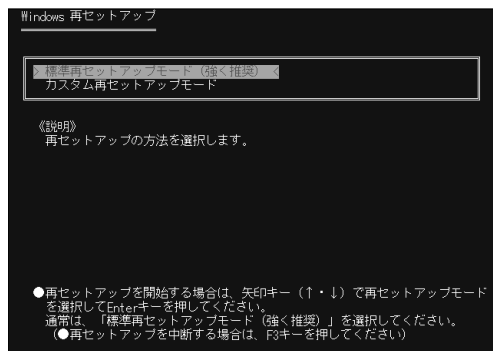
3 本機の電源を入れる

チェック!! CD-ROMドライブを選択する画面が表示された場合は、ご使用のCD-ROMドライブを選択してください。

しばらくすると次の画面が表示されます。

チェック!! 「バックアップCD-ROM#1」が正しくセットされていないと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、CD-ROMをCD-ROMドライブに正しくセットしなおし、電源を切ってもう一度手順3からやりなおしてください。

再セットアップにかかる時間や、CD-ROMの枚数はモデルによって異なります。実際の画面で確認してください。

4 【Enter】を押す

次の画面が表示されます。

これ以降は、再セットアップの種類により異なります。

●標準再セットアップ→「標準再セットアップ」（→p.16）へ

●カスタム再セットアップ→「カスタム再セットアップ」（→p.19）へ

標準再セットアップ

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. システムを再セットアップする
2. Windowsの設定をする
   →『はじめにお読みください』の「オペレーティングシステム(OS)を選択する」
3. アプリケーションを再セットアップする
   - **Office XP Personalモデル/Office XP Professionalモデルの場合**
     「Office XPの再セットアップ」(→p.23)
4. 各種の設定をする(→p.27)

システムを再セットアップする

チェック!! 再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。

1 再セットアップ画面を起動する(→p.14)

2 再セットアップ画面で、「標準再セットアップモード(強く推奨)」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

3 【↑】を押して「はい」を選択し【Enter】を押す

再セットアップが始まります。

チェック!! 途中で「バックアップCD-ROM」を入れ替えるメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって入れ替えてください。

4 「! Insert next media and press enter to continue...」と表示された場合は次の番号の「バックアップCD-ROM」をドライブにセットし、「OK」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

引き続き、再セットアップが始まります。
再度、「! Insert next media and press enter to cotinue...」と表示された場合は手順4を繰り返し行ってください。

チェック!! CD-ROMをセットし、【Enter】を押した直後に「Error」が表示された場合は、CD-ROMが異なる場合があります。【Enter】を押し、正しいCD-ROMをセットして、もう一度手順4を行ってください。

ファイルのコピーが終了すると、パソコンが15秒後に自動的に再起動します。ここで【Enter】を押すとすぐに再起動できます。このとき、CD-ROMは取り出さないでください。

チェック!!

- **途中で「バックアップCD-ROM」を入れ替えるメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって入れ替えてください。**
- **CD-ROMドライブを選択する画面が表示された場合は、ご使用のCD-ROMドライブを選択してください。**
- **ファイルのコピー中に、約5〜10分間画面が止まったように見えることがありますが、問題ありませんのでそのまましばらくお待ちください。**

5 CD-ROMをドライブから取り出すよう要求されたら、CD-ROMをドライブから取り出す

6 CD-ROMドライブをUSBコネクタから取り外す

7 【Enter】を押す

本機が再起動します。

標準再セットアップを選択された場合は、続けて「◎Windowsの設定をする」に進んでください。

＊ 本機では、Symantec Ghostを使用しています。Symantec Ghostにつきましては、添付の「バックアップCD-ROM#1」の¥GHOST.TXTをご覧ください。

◎ Windowsの設定をする

◆ 購入時にWindows XPを選択した場合

『はじめにお読みください』の「オペレーティングシステム(OS)を選択する」の手順にしたがってWindows XPを選択し、続けてWindows XPの設定を行ってください。

◆ 購入時にWindows 2000を選択した場合

『はじめにお読みください』の「オペレーティングシステム(OS)を選択する」の手順にしたがってWindows 2000を選択し、続けてWindows 2000の設定を行ってください。

このあとはご使用のモデルにより手順が異なります。

- **Office XP Personalモデル/Office XP Professionalモデル**
  →「Office XPの再セットアップ」(→p.23)へ
- **上記以外のモデル**
  →これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(→p.27)へ進んでください。

カスタム再セットアップ

ここでは、Windowsのカスタム再セットアップについて説明します。

再セットアップの種類

カスタム再セットアップには次の方法があります。

■ Windows XPをお使いの場合

◆ Cドライブのみ再セットアップ

Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをNTFSで再セットアップすることができます。

◆ ユーザー設定による再セットアップをする

Cドライブの容量をGB単位(NTFS)で指定して再セットアップすることができます。残りの容量はDドライブ(FAT32)として確保されます。すべてのハードディスク(Cドライブ、Dドライブなど)のデータは削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

■ Windows 2000をお使いの場合

◆ CドライブのみをFAT32で再セットアップする

Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをFAT32で再セットアップすることができます。

◆ 全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップする

ハードディスクの全領域を1つのパーティション(NTFS)にして、再セットアップすることができます。
すべてのハードディスク(Cドライブ、Dドライブなど)のデータは削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

◆ ユーザー設定による再セットアップをする

ハードディスクのサイズをGB単位(NTFS)で指定して、再セットアップすることができます。
すべてのハードディスク(Cドライブ、Dドライブなど)のデータは削除されるので、大切なデータはバックアップが必要です。

チェック!! **カスタム再セットアップは、Cドライブの再セットアップです。他の領域を作成する場合は『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「ハードディスク」をご覧ください。**

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. システムを再セットアップする
2. Windowsの設定をする
   - **Windows XPの場合**
     『はじめにお読みください』の「Windows XPのセットアップ」
   - **Windows 2000の場合**
     『はじめにお読みください』の「Windows 2000のセットアップ」
3. アプリケーションを再セットアップする
   - **Office XP Personalモデル／Office XP Professionalモデルの場合**
     「Office XPの再セットアップ」(→p.23)
4. 各種の設定をする(→p.27)

チェック!! Cドライブのみを再セットアップするとき、Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションを再インストールしてください。

システムを再セットアップする

チェック!! 再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。

1 再セットアップ画面を起動する(→p.14)

2 再セットアップ画面で、【↓】を押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す

「ご購入時に選択したオペレーティングシステムを選択してください。」と表示されます。

3 **【↓】を押して購入時に選択したオペレーティングシステムを選択する**

・**Windows XPの場合**
「Windows XP Professional」

・**Windows 2000の場合**
「Windows 2000 Professional」

4 **【Enter】を押す**

5 **【↓】を押して、カスタム再セットアップの種類を選択する**

6 **【Enter】を押す**
確認メッセージが表示されます。
これ以降は、選択したカスタム再セットアップの種類により手順が異なります。

◆「ユーザー設定による再セットアップ」を選択した場合

7 **10 のところに値を入力する**
選択したオペレーティングシステムによって最初に表示される数字は異なります。

・**Windows XPを選択した場合**
5GB以上で、お使いのハードディスクより少ない値を入力してください。

・**Windows 2000を選択した場合**
3GB以上で、お使いのハードディスクより少ない値を入力してください。

8 **【Enter】を押す**
「＊GBでCドライブを確保します。」と表示されます。
＊には、入力した値が表示されます。

9 **【F8】を押す**
再セットアップが始まります。

チェック!! **途中で「バックアップCD-ROM」を入れ替えるメッセージが表示された場合は、画面指示にしたがって入れ替えてください。**

作業が終了した後、「標準再セットアップ」の手順4〜7(→p.16)の作業を行い、続けて次の「◎Windowsの設定する」を行ってください。

◆「ユーザー設定による再セットアップ」以外のカスタム再セットアップを選択をした場合

「標準再セットアップ」の手順3〜7(→p.16)の作業を行い、続けて次の「◎Windowsの設定をする」を行ってください。

◎Windowsの設定をする

◆ 購入時にWindows XPを選択した場合

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」の「Windows XPのセットアップ」の手順にしたがってWindows XPの設定を行ってください。

◆ 購入時にWindows 2000を選択した場合

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」の「Windows 2000のセットアップ」の手順にしたがってWindows 2000の設定を行ってください。

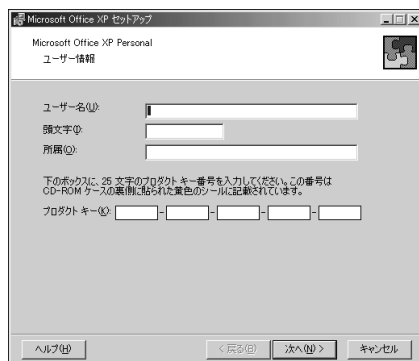
このあとはご使用のモデルにより手順が異なります。

- **Office XP Personalモデル／Office XP Professionalモデル**
  →「Office XPの再セットアップ」(→p.23)へ
- **上記以外のモデル**
  →これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(→p.27)へ進んでください。

Office XPの再セットアップ
(Office XP Personalモデル／Office XP Professionalモデルのみ)

- Office XPを再セットアップする前にCD-ROMドライブを使える状態にしておいてください。
- Windows XPをご使用の場合で、Office XPを再セットアップする際は、必ずコンピュータの管理者アカウントでログオンして行ってください。
- Windows 2000をご使用の場合でOffice XPを再セットアップする際は、必ずユーザ名「Administrator」でログオンしてから行ってください。
- Windows 2000をご使用の場合、本機にはWindows 2000 Service Pack 2日本語版(以下Service Pack 2)がインストールされています。Service Pack 2はWindows再セットアップ直後(Office XPの再セットアップを行う前)にしか削除することができません。Service Pack 2を削除する場合は、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」をご覧ください。
- 「Office XP」を削除したり、本機を再セットアップした場合、「Office XP」を再追加すると、「Office XP」のアプリケーション(WordやExcelなど)を最初に起動したときに、「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」ウィンドウまたは、「Microsoft Office XP Professional ライセンス認証ウィザード」ウィンドウが表示されます。この場合は、「Office XP」に添付のOffice XPのセットアップガイドをご覧になり、ライセンス認証を行ってください。

1 「Office XP Personal」または「Office XP Professional」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的にセットアッププログラムが起動し次のウィンドウが表示されます。

このウィンドウは「Office XP Personal」のものです

2 「ユーザー情報(ユーザー名、頭文字、所属、プロダクト キー)」を入力する

ユーザー名やその他の項目の入力は省略することができます。
なお、プロダクト キーをここで入力すると、Office XP アプリケーションを最初に起動したときのプロダクト キーの入力作業が必要なくなります。プロダクトキーは、「Office XP Personal」または「Office XP Professional」のCD-ROMケースの裏側に貼られた黄色のシールに記載されています。

チェック!! Windows 2000をご使用の場合で「Windows 2000の紹介」のウィンドウを表示させている場合は、このウィンドウがうしろに隠れてしまう場合があります。

3 「次へ」ボタンをクリックする

「使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

4 ウィンドウの内容をよく読み、「「使用許諾契約書」の条項に同意します」の□をクリックして☑にし、「次へ」ボタンをクリックする

インストールの種類を選択するウィンドウが表示されます。

5 「カスタム」の○をクリックして◉にし、「次へ」ボタンをクリックする

インストールするOffice XPのアプリケーションを指定するウィンドウが表示されます。

6 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の◯をクリックして◉にし、「次へ」ボタンをクリックする

次のウィンドウが表示されます。

このウィンドウは「Office XP Personal」のものです

7 (Microsoft Office)をクリックし、表示されるメニューから「マイ コンピュータからすべて実行」をクリックする

灰色で表示されたアイコンがないことを確認してください。

8 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」のをクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする

＋をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、(読み上げ)がに変わります。

9 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」のをクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする

＋をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、(音声)がに変わります。

10 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「IME」-「IME パッドアプレット」-「音声アプレット」のをクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする

＋をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、(音声アプレット)がに変わります。

11 「次へ」ボタンをクリックする

インストール内容の確認ウィンドウが表示されます。

12 「完了」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。

インストールが終了すると、再起動のメッセージが表示されます。

13 「はい」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

14 CD-ROMドライブから「Office XP Personal」または「Office XP Professional」CD-ROMを取り出す

これで再セットアップは終了です。
p.27の「各種の設定をする」に進んでください。

各種の設定をする

機器や設定を元に戻す

◎ 機器を取り付ける

再セットアップ前に取り外した周辺機器を元通りに取り付け、機器の設定を行ってください。

参照 周辺機器を設定する→『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART2 周辺機器を使う」

◎ パソコンの設定を元に戻す

購入後に設定した内容はすべて購入時の状態に戻っています。インターネットやBIOSセットアップユーティリティなどのパソコンの設定をやりなおしてください。

> 再セットアップ前にユーザパスワードやスーパバイザパスワードが設定されていた場合は、その設定が引き続き有効になっています。新たに設定しなおす必要はありません。
> プロバイダに加入している場合、すでに取得しているIDやパスワードをそのまま使うことができます。新たにサインアップをやりなおす必要はありません。

◎ アプリケーションをインストールしなおす

パソコンを購入後にインストールした別売のアプリケーションや、添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を使ってインストールしたアプリケーションは、再セットアップ後には消去されています。あらためてインストールしなおしてください。

活用ガイド
再セットアップ編

PC98-NX SERIES

VersaPro
（Windows® XP Professional /
Windows® 2000 Professionalセレクタブル）

初版　2002年2月
NEC
P
853-810028-297-A